

金融庁インパクトコンソーシアム
データ指標分科会事例発表
(株)環境エネルギー投資のインパクト投資

2025年 11月

株式会社 環境エネルギー投資



会社概要

環境エネルギー・モビリティ分野に特化した
日本で唯一の独立系ベンチャーキャピタル

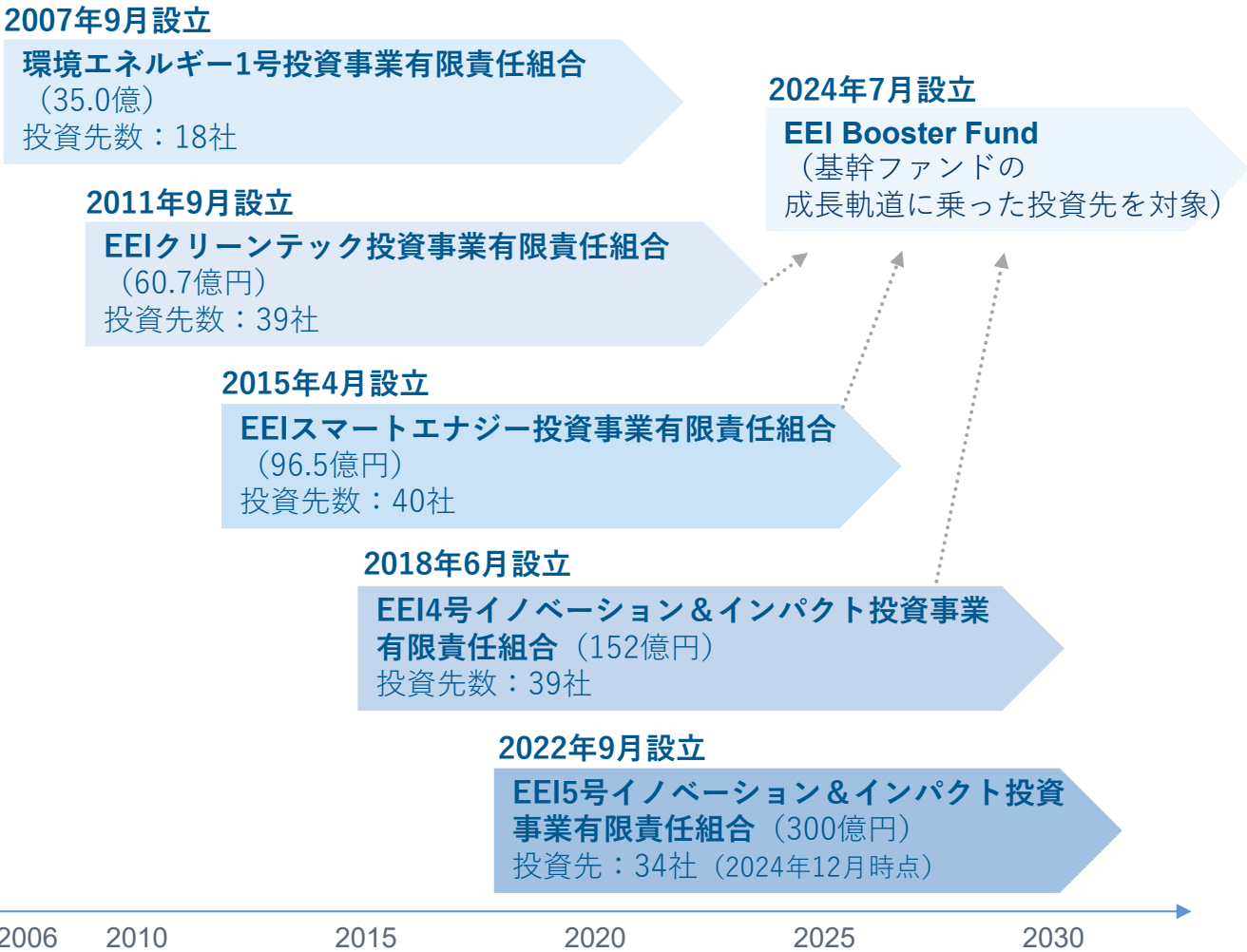
会社概要

社名 株式会社環境エネルギー投資
代表 河村 修一郎
設立日 2006年3月3日
役職員数 22名

当該分野に精通し運用実績を有するキャピタリストの総合力によりファンドを運用。一貫して**投資リターン&環境・社会的インパクト**を創出。

脱炭素社会の実現へ向けて飛躍が期待される**次世代のエネルギー領域**や**モビリティ** & 物流領域を中心に、**先鋭化する社会・環境課題解決に寄与**する有望な事業モデルやテクノロジーを有するスタートアップへの投資を実行。

合計で約650億円のファンド運用実績



Sustainability through Innovation and Entrepreneurship

自らも起業家精神を持ち、新しい事業の創造と革新的なイノベーションを起こすスタートアップに対する投資・支援を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。

Investment

脱炭素を中心とした環境・社会課題に対して先見性をもって取り組み、新しい事業の創造と革新的な**イノベーションを起こす**スタートアップへ投資

Growth & Impact

インパクトの創出を通じて高い成長性を目指す投資先に対し、**事業・インパクト戦略の策定と実行**をサポート

Ecosystem

領域特化型VCのパイオニアとして、業界や国内外のネットワークを活用し、環境・エネルギー課題に取り組む**スタートアップエコシステム**を構築

Global

グローバル課題に対し、**日本の市場から世界に**インパクトを与えるポテンシャルを持つスタートアップを創出

スタートアップへの投資を通じて新産業の創出に貢献:1号-5号ファンド投資先事例

創業当初より、エネルギーの構造転換を中心に時代の半歩先を見据えたテクノロジーやビジネスモデルの創出や投資を通じて新産業の創出に貢献してきました。



EEIの3つの重点投資領域

脱炭素を中心とした環境・社会課題に取り組むスタートアップへ投資し、事業成長とインパクト創出を支援しています。

■Energy Transition

脱炭素社会実現に向けたエネルギーの構造転換

- 脱炭素社会の実現へ向けて飛躍が期待される次世代エネルギービジネス
- エネルギー安定供給や生活インフラを支える新たなビジネスモデルや技術

■Mobility & Transportation

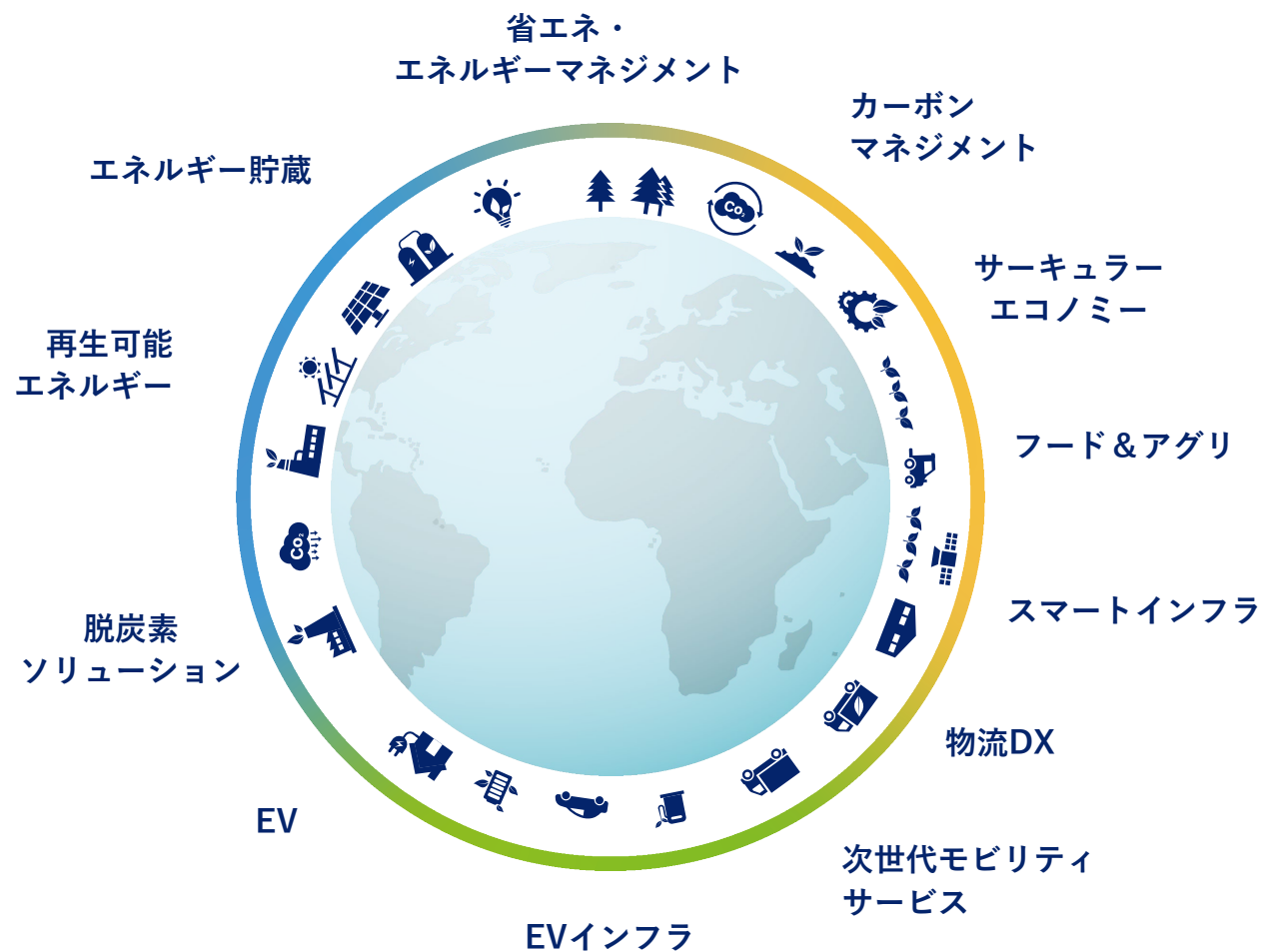
輸送関連セクターのCO2排出削減と社会課題解決

- 蓄電池・EV等、モビリティに関する新しいインフラのイノベーション
- 過疎化や人手不足が進む地域社会へのモビリティソリューション

■Smart Society

環境変化や資源不足に対応するための社会のスマート化と持続可能な基盤づくり

- 循環型社会、人的・自然資源の有効活用を促進し、持続可能な社会を実現するデジタル技術やビジネスモデル
- 気候変動への緩和・適応に有効な技術



EEI4号ファンドのポートフォリオ

※2025年9月時点

投資社数：39社

EEI 4号

EXIT/IPO：7社
出資約束金額：
152億円

Energy Transition

ふるさと熱電株式会社
地熱発電所の運営

しろくま電力
ShirokumaPower
再エネの開発、EPC/O&M

MEDIOTEC
自家消費型太陽光の提供

EXIT GREENCOM NETWORKS
分散電源エネマネ

AIO CORE

CEC
CLEAN ENERGY CONNECT
非FIT再エネ開発、
生グリーン電力供給

ASUENE
CO2排出量管理

NATURE
スマートリモコン
によるを基点に
電力事業へ展開

RELECTRIFY
セル単位の制御が
可能なBMSを開発

Mobility & Transportation

ample
EV充電プラットフォーム

PLUSO
EV充電器の製造・
サービス提供

ASF
EV物流車の開発・販売

EV Motors Japan
EVバスの開発・販売

EXIT MEC CORPORATION
車載型バイナリー発電

IPO NYLE
インターネットでの
自動車販売

IPO HATCHWORK
月極駐車場のDX

207
物流のラストワンマイルのDX デジタルフォワード

SKYDRIVE
空飛ぶクルマの開発

scheme verge
MaaSやDXによるエ
リアマネジメント

CLARA
シェアサイクル事業

Shippio

Smart Society

スマートホーム

Y・U・K・A・I
・E・N・G・I・N・E・E・R・I・N・G・
コミュニケーション
ロボットの開発

mi
スマートホーム
向けUI/UXの開発

光トランシーバ内素子の開発・
製造。電力消費を大幅削減



CLUE ドローンによる屋根点検



Synspective SAR衛星ソリューション



SAR衛星データの解析

スマートインフラ/モニタリング

LiLZ 計器類の点検の自動化



Astroscale スペースデブリの除去



高解像度イメージ
センサの開発

SDGs



SDGsの見える化

レジリエンス



法定点検のDX



寝かせ玄米の
製造・販売

食・ヘルスケア



レーダーによる
高齢者見守り



食事解析AIによる
健康管理アプリ

雇用・働き方



プロ人材との
マッチング



Active and Company
HRオートメーション

環境



生分解性プラス
チックの開発



マイボトル
アプリ

EEI 5号ファンドの投資実績とポートフォリオ

※2025年9月時点

投資社数：41社

Energy Transition



既存太陽光セカンダリー仲介



再エネ事業の開発、コーポレートPPAによる電力供給



高性能次世代電線の開発



ワイヤレス給電

moreパワー

既存太陽光セカンダリー&リパワリング



複合素材の開発



アンモニア生成技術



換気制御通じた空調効率化による省エネ



電池製造・開発に関わる問題解決支援



電池製造プロセスに関わるイノベーション



低電力・高効率処理を可能にするイベントセンサー向けソフトウェア



低温帯の未利用熱発電技術

Mobility & Transportation



小型EVの開発



EVマネジメント



船舶の電動化



電界結合方式による無線給電



集合住宅向けEV充電設備を展開



自動運転トラックによる幹線輸送



過疎地域におけるAIオンデマンド配車システム



農業用自律走行ロボットの開発



荷主と運送会社のマッチングと物流DX



航空分野における運行を最適化



CO2レスのラストワンマイル配送



インフラ点検向け多関節ロボットを開発



DeepForest

FAEGER

OOYOO

森林からのカーボンクレジットの創出

農業由来のカーボンクレジットの創出

膜技術によるカーボンキャプチャー



カーボンクレジットプラットフォーム



カーボンクレジットプラットフォーム

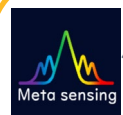


光合成細菌を用いたCO2/N2の固定、資源化



インパクト投資プラットフォーム

Impact Management



小型ラマンセンサーの開発・材料開発支援



特殊冷凍テクノロジー

TWO

プラントベースフードの開発



コーヒー生豆のオンラインプラットフォーム



中性子線を用いた品種改良技術



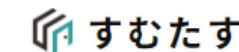
藻類を活用したレアメタル回収



複合プラスチックのリサイクル技術



YourTrade



「iBuyer」×リノベーション



解体工事のDX

越境ECにおけるReverse Logistics

Carbon Management

Industrial Innovation

Food

© 2025

Circular Economy

インパクト投資の手法

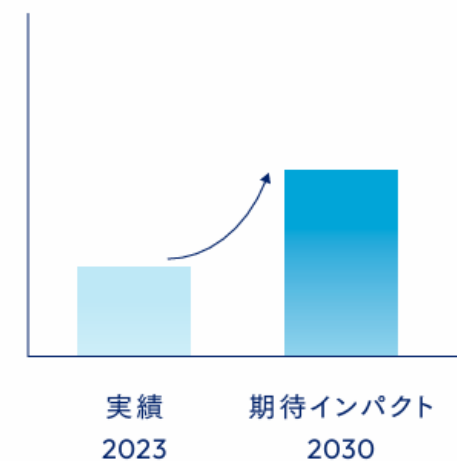
インパクト定性評価 / Five Dimensions of Impact フレームワーク

Impact Dimension	Impact Questions
□ What	■ 期間中にどのような成果があるか ■ 成果がプラスかマイナスか ■ それを経験する人々や地球環境にとってどのように重要か
○ Who	■ 誰が成果を経験しているか ■ ステークホルダーがどの程度影響を受けるか
≡ How much	■ 規模、変化の度合い、期間に関して、どの程度の成果が生じるか
+ Contribution	■ 当該事業がなかった場合に、変化が起こりうるか
△ Risk	■ 想定通りのインパクトを生み出せなくなるリスクは何か

インパクト定量評価

期待インパクトKPIを設定

定量目標として、SDGsやIRIS+等を参考に、直接的/間接的なインパクトKPIを設定

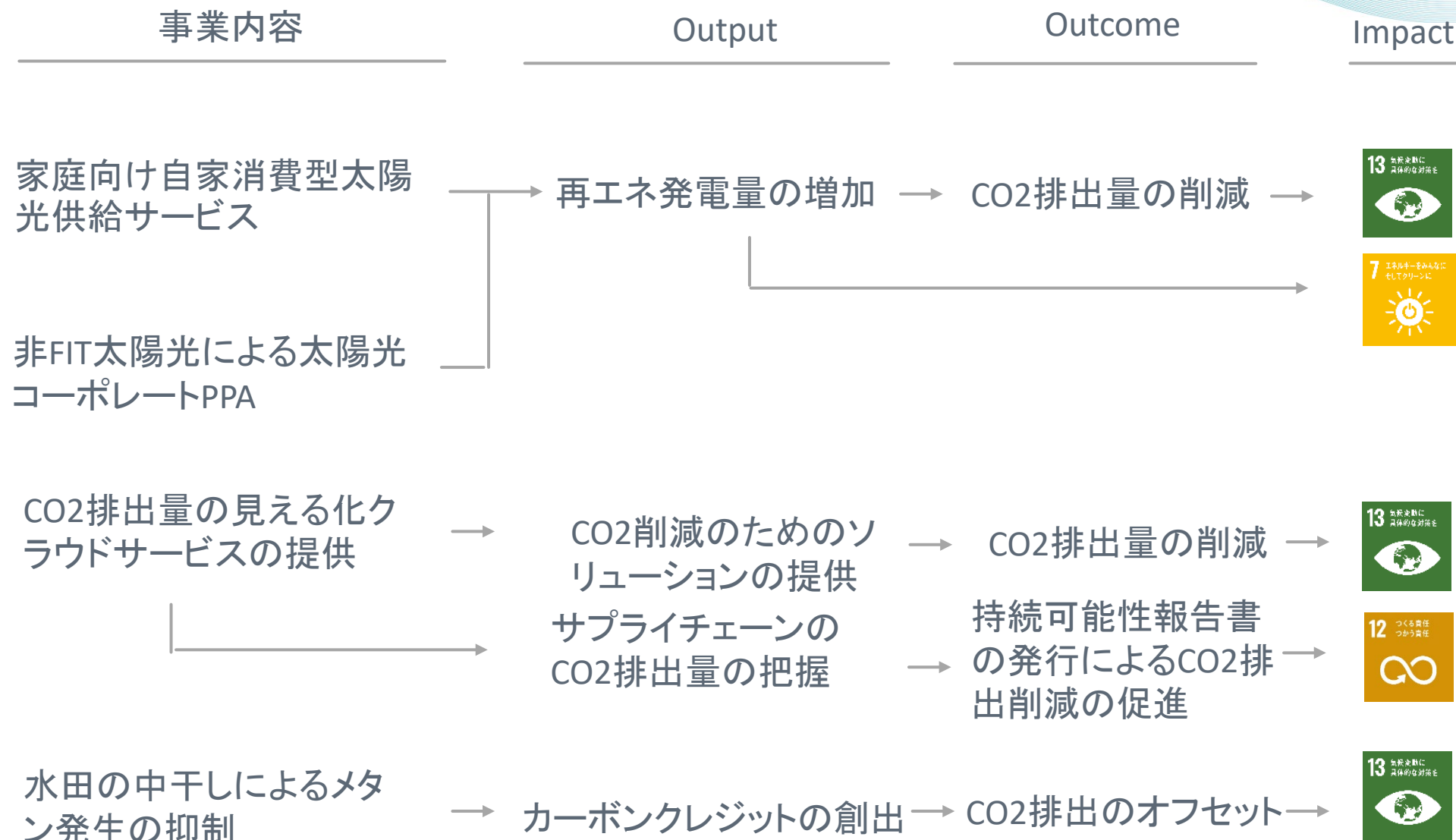


主なSDGs貢献目標

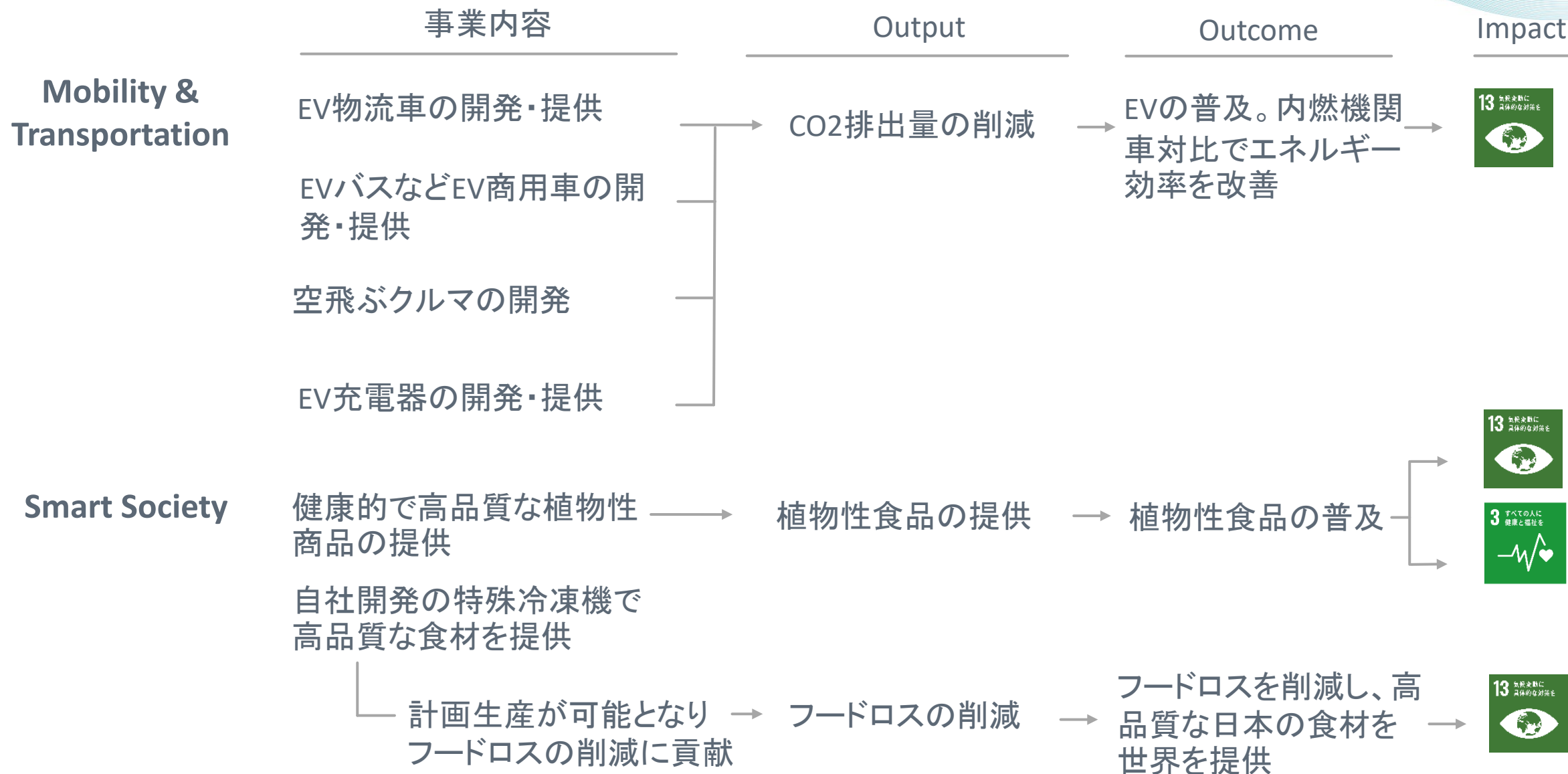


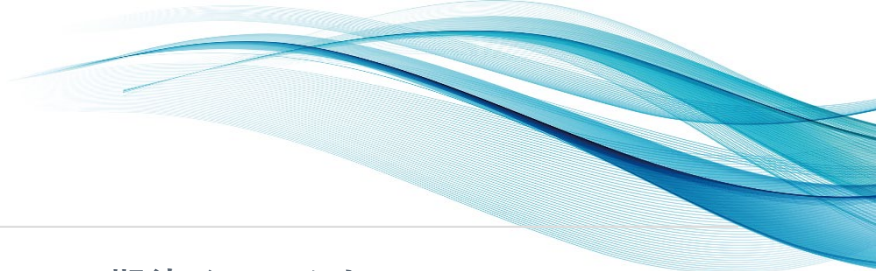
投資先による社会課題解決

Energy Transition



投資先による社会課題解決





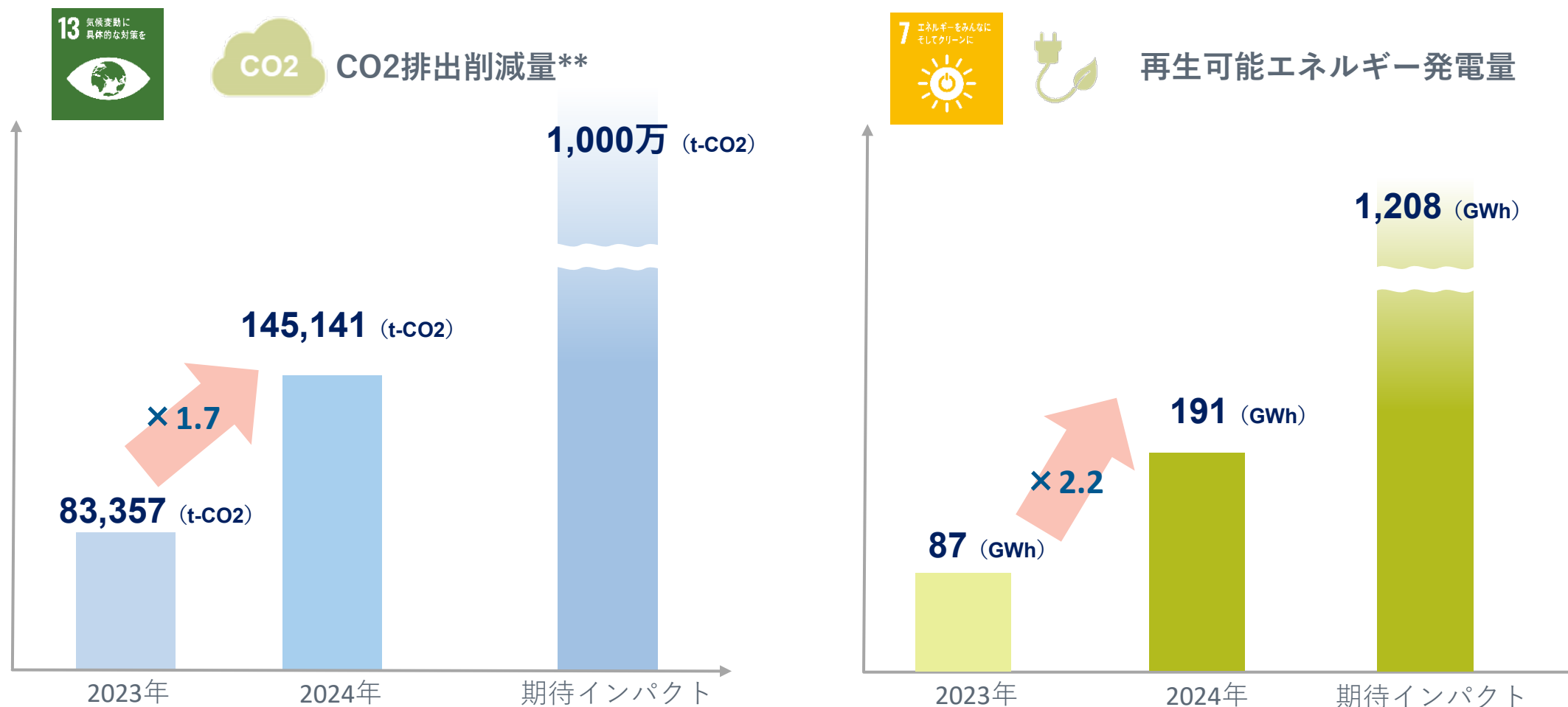
インパクト達成状況および期待インパクト(以下一例)

インパクト指標	実績		期待インパクト	SDGs
	2023年12月末	2024年12月末		
 CO2排出削減量 (t-CO2)	83,357 (t-CO2)	145,141 (t-CO2) (前期比: 174 %)	1,000万 (t-CO2)	
 再生可能 エネルギー発電量 (GWh)	87 (GWh)	191 (GWh) (前期比: 220%)	1,208 (GWh)	
 省エネ量 (MWh)	78 (GWh)	88 (GMh) (前期比: 112%)	259 (GWh)	

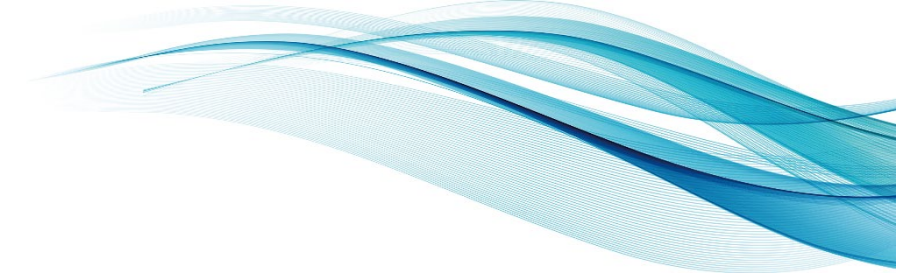
•
•
•

今期のインパクト達成状況：投資先の事業成長とともにインパクトの創出量が拡大

投資先による主なインパクト指標であるCO2排出削減量、再生可能エネルギー発電量共にインパクト創出量*が拡大しています。



*EEI 4号、5号、Booster Fundの累計値。 **CO2排出削減量、カーボンクレジット創出量、CO2固定量の合計値



環境エネルギー投資(EEI)のインパクト投資

EEIのインパクト投資による貢献 スタートアップ投資・支援を通じた持続可能な社会への貢献

半歩先の大きな課題と市場を見据え、成長が期待できる投資先を特定、投資します。当社がリスクマネーを提供し事業成長を支えることが呼び水効果となり、当分野へのエコシステムや投資の拡大に貢献、投資先の事業を通じて持続可能な社会の構築を目指しています。

EEIによる投資

投資先の事業成長とインパクト創出

持続可能な環境・社会への貢献

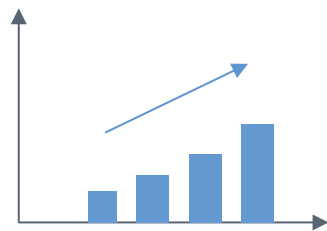


スタートアップの成長に必要なリスクマネー

経験のある投資経験者、業界の知見やノウハウ

環境・エネルギーを中心とした投資分野におけるネットワーク

投資先が事業成長とともにインパクトを創出



事業成長、インパクト実践、Exitの支援

<インパクト創出例*>

- CO2 CO2排出削減
- 再エネ発電
- 省エネ
- 持続可能性に関する開示
- プラスチック削減
- バッテリーのリサイクル
- フードロス削減



脱炭素社会の実現等
持続可能な社会の構築

エコシステムの構築や呼び水効果による
環境・社会課題に取り組むスタートアップへの資金の増加

*主要なインパクトKPIを抜粋

EEIのインパクト投資: 課題解決への意志を持ってスケールアップを目指す

高いインパクト志向を持ち、スピード感を持って大きなインパクトの創出と高い成長性が期待できるスタートアップに対して投資・成長支援をしています。



投資フローと成長支援

インパクトKPI及びESGの達成状況を投資実行時に投資委員会にて評価し、投資後は定期的にモニタリングを実施しています。

- 投資時に投資先が創出するインパクトを訂正・定量的に把握し、ESG体制の現時点を把握。会社の成長段階に対して、インパクト創出の拡大とESG体制の改善を支援。インパクト・ESGと事業成長は相互に関連するため、双方向の支援を実施。



インパクト投資エコシステムへの参画と貢献

当社は、国内唯一の環境・エネルギーに特化したVCファンドのみならず、EEI5号は国内最大のインパクトVC投資ファンドとして、グローバルな各種イニシアティブに参加し、インパクト投資の実践・洗練と市場拡大への貢献しています。

インパクト投資の先駆事例等から学び、 グローバルな潮流に沿った実践



- グローバルなインパクトVCで構成される Impact Capital Managers (ICM) に日本の企業で初めて加入し(2020年)、グローバルなインパクトVCと定期的に情報交換。



- Impact Frontiersによるインパクトレポートのパイロットプログラムに参加。



- 将来のGHG削減インパクトを推計するためのフレームワークやツールを構築する Project Frameのプロジェクトに参画。

インパクト志向の投融資の 市場拡大に向けた貢献



- 2022年に金融業界を中心に発足したインパクト志向金融宣言に参画し、意見交換を通じた市場拡大・形成に貢献。



- 環境省の「日本のクライメイトテックエコシステム構築に向けた検討会」の検討委員に就任し、政策提言に寄与。補助金事業の審査員としても関与。



- インパクト創出のため投資家・金融機関、企業、自治体等の幅広い関係者の対話の場であるインパクトコンソーシアムに法人会員として参加。

インパクト評価の新たな試み インパクト×AI



Impact Investing

We Tested AI Impact Assessments. Here's What We Learned.

High-quality impact data and assessments are vital for allocating capital effectively, yet they are resource-intensive for investors and social innovators. Can generative AI speed up and strengthen impact-performance assessment of venture investments?

CITE SHARE COMMENT PRINT ORDER REPRINTS

By Nicholas Andreou, Philipp Essl & Jeremy Rogers | Sep. 15, 2025



IMPACT CIRCLE

Impact Cloud IC（インパクト可視化SaaS）とは

企業、組織や各取り組み（プロジェクト）が創出するインパクトを可視化する過程を、SaaS（AIと当社独自DBの参照にて構成）で皆様をナビゲートし、インパクトに関する知識・ノウハウ・実務の習得と、効率化を実現します

【Impact Cloud ICの特長】

必要な情報をインプットしてから
ロジックモデルやインパクト指標の提示まで
およそ15分（※）で完結

SaaSによるナビゲートに沿って進め
インパクト設計に関する**ノウハウ、実務を習得**

※当社調べ
（インプット情報を収集する時間及び、ディスカッション等の時間は除きます）





株式会社 環境エネルギー投資
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-11-1

URL : <http://www.ee-investment.jp/>

Energy & Environment Investment, Inc.
5-11-1 Higashigotanda, Shinagawa-ku, Tokyo, 141-0022,
Japan

URL : <http://www.ee-investment.jp/>

本資料の著作権は、株式会社環境エネルギー投資または著作権者にあります。
本資料を転載使用するにあたっては、必ず株式会社環境エネルギー投資の著作物であることを明示してください。